

懺悔するは殻の中

松下 幹生

私は殻に 閉じ籠り
魂が ゆらゆら辺りを 飛び回る
過去が未来を 啄（ついば）んで
ただ一人 闇にたたずみ
明日のない身を 昨日が責める
朽ち果てるまで 静かに深い 海の底

ナイフが群れて 襲い来る
その1つ 掴めばナイフは 暴れだし
一面朱の幕 張りめぐる
生きている まだ生きてるが
幾多の人の 未来や希望
傍若無人に 踏みつけるよな ヤツだった

四角い壁の 鉄格子
窓の外 夜空に切り取る 月を見る
正義の責めに 支配され
逃げ場など 有るはずもなく
明日を消し去る 靴音響く
殻に籠った 私は呻（うめ）き 懺悔する